

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第59回

長崎県代協

金融経済教育の重要性とその取組みについて

近年、日本における金融リテラシーの向上が求められています。特に若年層に対する教育が重要な視されており、長崎県においては民間主導による「ALL長崎金融リテラシー向上プロジェクト協議会」が組織されました。長崎県代協(鶴浩二会長)もこの協議会に今年度より参画し長崎県内の高校にて出前授業を行っています。

この授業では、金融リテラシーの基本的な概念から始まり、実際の生活に役立つ知識を提供しました。例えば、家計管理や投資の基本、クレジットカードの使い方など、日常生活で直面する金融の問題について学びまし

ています。多くの国々で、学校教育の一環として金融リテラシー教育が導入されており、その効果が報告されています。例えば、アメリカやイギリスでは、金融教育プログラムが広く実施されており、生徒たちの金融知識やスキルの向上が確認されています。

日本においても、金融経済教育の普及が進むことで、将来的には国全体の経済的な健全性が向上することが期待されます。特に、若年層に対する教育が重要であり、彼らが将来の経済活動において適切な判断を下せるようになることが求められます。

長崎県代協の取組みはその一例に過ぎませんが、全国の学校で同様のプログラムが実施されることで、多くの若者が金融に関する知識を深め、経済的な自立を果たすことができるでしょう。今後もこのような教育が継続され、多くの若者が金融に関する知識を深めていくことを期待しています。

長崎南高校での出前授業の様子



さらに、金融リテラシーの向上は、個人の経済的な自立を促進するだけでなく、社会全体の経済的な安定にも寄与します。例えば、適切な投資判断やクレジットカードの利用方法を学ぶことで、個人の財務状況が改善され、結果として消費者信用の健全化が図られます。また、金融リテラシーが高まることで、詐欺や不正行為に対する抵抗力も強化されます。

金融経済教育の重要性は、国際的にも認識されています。

※長崎県代協は長崎県立長崎南高校2年生の授業を受け持ちました。

講師は鶴浩二会長が務めました。このようはNHKにて全国放映されました。